

後期中期計画

総論
分野別計画
(素案概要)

岡山市第六次総合計画 全体構成

長期構想

- 「都市づくりの基本目標」と3つの「将来都市像」を定めるとともに、その実現に向けた「都市づくりの基本方向」を明らかにするもの
- 期間は、平成28年度から令和7年度までの10年間

後期中期計画

I 総論

- 1 基本的な枠組み
- 2 前期中期計画における主な取組
- 3 従来からの構造的な課題と新型コロナに伴う新たな課題
- 4 後期中期計画における政策推進
- 5 将来の都市の形

II 分野別計画

- 6 政策別の主な取組

(1) 計画の位置づけ

- 政策の体系を明らかにし、具体的な施策展開の方向を示すもの
- 岡山市の都市づくりを総合的・計画的に進めるための指針

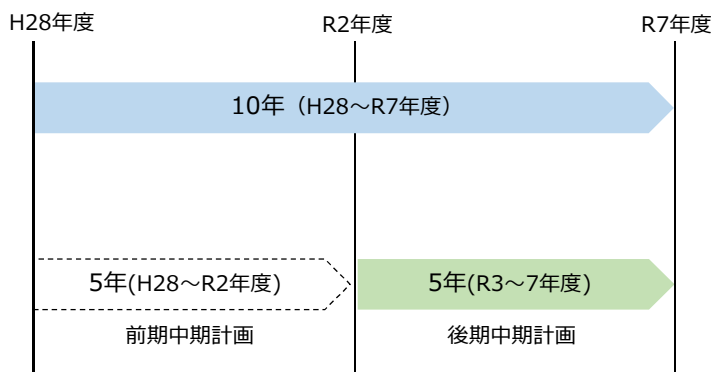
(2) 計画の構成

- 将来都市像等を掲げる「長期構想」と分野別の政策等を掲げる「後期中期計画」で構成



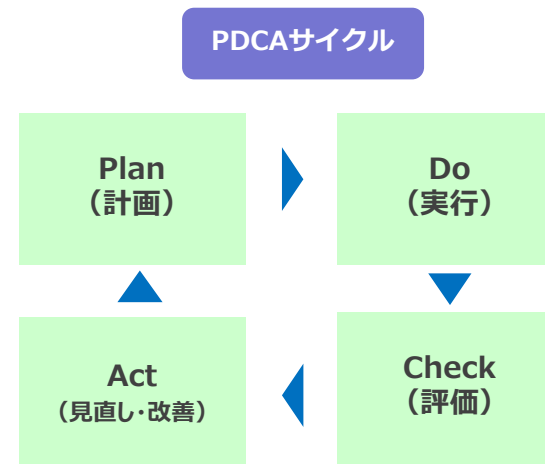
(3) 計画の期間

- 令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの5年間



(4) 計画の進行管理

- PDCAサイクルに基づいて進行管理
- 成果指標を設定し、成果指標の達成状況を毎年度公表



(5) 持続可能な開発目標 (SDGs) との関係性

- 後期中期計画はSDGsの達成に寄与



(出典)国際連合

将来都市像 I 「経済・交流都市」

● 拠点性を活かした企業立地の推進

- ・ 本社・中四国支店等誘致をはじめとする各種補助制度の創設によるインセンティブ付与
- ・ 空港南産業団地の整備による企業立地 等

➡ 市内企業立地の件数・新規常用雇用者数・投資額 ※再投資を含む。

16件・345人・130.9億円（H24～H27） → 60件・810人・613.6億円（H28～R1）

● 創業しやすい環境づくり

スタートアップ支援施設「ももスタ」の開設

● 魅力と賑わいのある中心市街地の創出（歩いて楽しいまちづくり）

- ・ 路面電車の乗り入れを含めた駅前広場整備事業 ・ 県庁通りの再整備（一車線化）
- ・ 緑のポリュームアップ ・ 岡山芸術交流 ・ 岡山芸術創造劇場整備事業 等

● 持続可能な公共交通ネットワークの再構築に向けた取組

法定協議会の開催（バス路線の再編、運賃割引、運賃適正化に向けた協議・検討）

● 周辺地域における生活交通の確保

市内5地区（R2.10.1現在）でデマンド（予約型）乗合タクシーを導入

● 国内外の人を惹きつける観光・交流の推進

- ・ 日本遺産「桃太郎伝説」認定 ・ 造山古墳ビジターセンター設置
- ・ ESDに関するユネスコ世界会議、日中韓3か国地方政府交流会議、G20保健大臣会合開催 等

➡ コンベンション参加者数 152,296人（H27） → 162,348人（R1）

➡ 外国人延べ宿泊者数 85,274人（H27） → 206,591人（R1）

将来都市像Ⅱ 「子育て・教育都市」

● 仕事と子育ての両立のための基盤整備

【幼児教育・保育の充実】

保育の受け皿 14,574人 (H28.4.1) → 19,810人 (R2.4.1)

入園申込児童数 16,318人 (H28.4.1) → 18,716人 (R2.4.1)

待機児童数 729人 (H28.4.1) → 259人 (R2.4.1)

- ➔ 保育の受け皿の整備に加えて、保育士確保に向けて、民間保育士の処遇改善等を実施

【放課後児童クラブの運営見直し】

保護者が安心して仕事を続けるためには放課後児童クラブの安定的な運営体制が必要

- ➔ 令和4年度までに放課後児童クラブを市立クラブとし、サービスや利用料金を平準化（令和2年4月に87クラブのうち、22クラブを市立に移行）

● 女性が活躍できる社会づくり

「隗より始めよ」の精神で市内の女性が輝く環境づくりを推進

- ➔ 岡山市役所（全職員）の管理職に占める女性の割合 8.4% (H27) → 13.8% (R1)

● 主体的な学びの推進による学力の育成

思考力・判断力・表現力等を問う「活用」に関する問題の無回答率が全国平均を上回る

- ➔ 岡山市独自の学力調査（学力アセス）を実施し、その結果を活用した授業改善を実施

- ➔ 全国学力・学習状況調査の偏差値

小6 国語：50 算数：50 (H27) → 国語：51 算数：50 (R1)

中3 国語：48 数学：48 (H27) → 国語：50 数学：50 (R1)

● 問題行動等の防止及び解決

暴力行為（中学校1,000人当たり） 18.0件 (H27) → 18.1件 (R1)

不登校（小学校） 0.57% (H27) → 1.03% (R1)

- ➔ 小・中学校の連携強化、不登校児童への早期対応を実施

● ESD活動の拡大とSDGsの推進

「SDGs未来都市」に選定（誰もが健康で学び合い、生涯活躍するまち岡山）

将来都市像Ⅲ 「健康福祉・環境都市」

● 健康寿命の延伸に向けた健康づくりの推進

- ・ 健幸ポイントプロジェクトにより運動などの取組促進が健康づくりに寄与
（BMI値、メタボの減少及び医療費抑制効果）
- ・ 健康ポイント事業（おかやまケンコー大作戦）にSIBを活用（R1～）
※SIB（ソーシャルインパクトボンド）：民間事業者が、出資・融資等の資金調達により事業実施し、事前に定めた成果指標の達成状況に応じて市が事業費を支出するもの
- ・ 生涯現役応援センターを設置し、高齢者の就労やボランティア活動などの生きがいづくりに寄与
- ・ 2030年の岡山の保健医療のあるべき姿として「PHO（ポジティブヘルスオカヤマ）」を策定 等
➔ 健康寿命 男性71.6歳 女性73.4歳（H25）→ 男性71.6歳 女性74.3歳（H28）

● 平成30年7月豪雨等を踏まえた防災・減災対策

【地域防災力の強化】

- ・ 身近な組織である町内会単位で地域における「共助」の要となる自主防災組織の結成促進
- ・ 自主防災組織結成促進のための各種助成制度を創設及び拡充
➔ 自主防災組織活動カバー率 64.5%（H30.4）→ 92.2%（R2.4）

【災害に強いまちづくり】

- ・ 浸水被害の著しかった3排水区（今保、津島、横井）を下水道整備の重点地区に追加
- ・ 事前に豪雨が予測される場合の事前水位調整を行う区域拡大などの見直しを実施

● 低炭素型の環境にやさしいまちづくり

- ・ 温室効果ガス排出削減に向けた「世界気候エネルギー首長誓約」への署名
- ・ ごみ処理施設の再生可能エネルギーの活用に向けた検討（新庁舎整備計画）

従来からの構造的な課題

少子高齢化・人口減少

- 令和元（2019）年は自然減が社会増を上回り人口減少局面
- 将来推計では令和27（2045）年には人口が69万人に減少
- 生産年齢人口比率は低下する一方、高齢者人口比率は上昇

東京一極集中

- 地域社会の担い手が減少し、地域経済が縮小
- 首都直下地震などの巨大災害による災害リスクが拡大

市街地のスポンジ化

- 郊外への拡大を続けてきた市街地の人口密度が低下
- まちなかの賑わいや市民の利便性への影響が懸念

自然災害の激甚化・頻発化

- 地球温暖化が進行し、台風や豪雨などが激甚化・頻発化
- 平成30（2018）年7月豪雨では大きな被害が発生

新型コロナに伴う新たな課題

感染拡大の防止

- 市民の生命や健康を守るための基本的な感染対策
- 保健所体制の強化や検査能力の確保

経済活動・市民生活の下支え

- 全国的な感染拡大に伴う社会経済活動抑制の結果、岡山市でも幅広い業種で売上が減少
- 特に非正規雇用者や中小・小規模事業者等がより厳しい生活環境や経営環境

働き方や価値観の変化

- テレワークをはじめとする多様な働き方やキャッシュレス化、リカレント教育等が拡大
- 人口密度が高い東京圏での集住リスクの認識を背景とした地方移住ニーズの高まり

税収の下振れリスク

- 岡山市では事業継続支援や市民生活支援のため、前例のない規模の補正予算を計上して財政出動を躊躇なく実施
- 一方、社会経済活動への大きな影響に伴う市税収入の下振れが懸念され、持続可能な財政運営が今後の課題



これまでの取組やこれらの課題を踏まえた上で後期中期計画を策定

長期構想		後期中期計画
将来都市像	都市づくりの基本方向	30の政策
<p>将来都市像Ⅰ 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域経済の活性化による、魅力と活力あふれるまちづくり 2 コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり 3 歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり 	<p>これまでの取組や課題を踏まえつつ、前期中期計画と同様、30の政策により推進</p> <p>※30の政策については、6政策別の主な取組（P9～13）参照</p> <p>※コロナを踏まえた対応については、【参考】コロナを踏まえた政策推進上の3つの観点（P14～17）参照</p>
<p>将来都市像Ⅱ 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」</p>	<ol style="list-style-type: none"> 4 安心して子育てができ、若者や女性が輝くまちづくり 5 つながる教育で未来を拓く人材を育むまちづくり 6 理解を深め合い、ともに築く市民主体のまちづくり 	
<p>将来都市像Ⅲ 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」</p>	<ol style="list-style-type: none"> 7 住み慣れた地域で安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり 8 地域の力をいかした災害に強く安全・安心なまちづくり 9 豊かな自然と調和した市民の手による持続可能なまちづくり 	
<p>都市経営</p>	<ol style="list-style-type: none"> 10 圏域をリードし、都市の持続的発展を支える都市経営 	

方向性 1

都市の活力を高め、市民の暮らしを支える拠点の形成

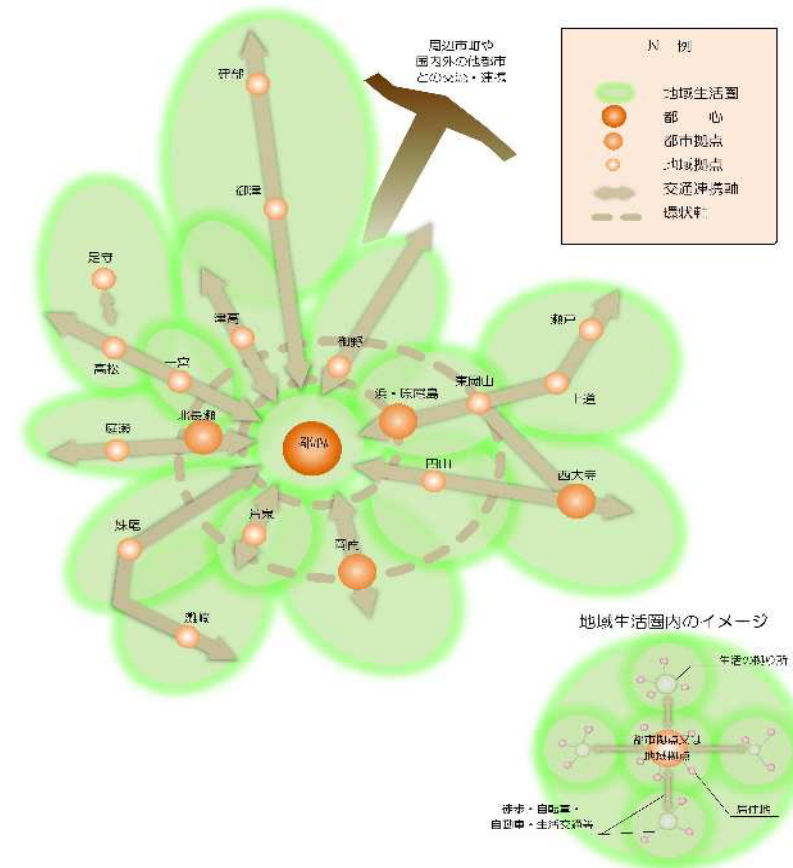
- 都市と周辺地域の各拠点に、それぞれの特性に応じた様々な都市機能の集積を図り、誰もが暮らしやすい密度の高いまとまりのある都市空間を形成
- 周辺地域の拠点は、日常生活の行動をもとにした地域生活圏や成り立ち等を考慮し「都市拠点」「地域拠点」の2種類の拠点を設定
- 「日常生活の拠り所」を核に、持続可能な地域づくりを市民との協働により推進

方向性 2

安全・安心で利便性の高いネットワークの形成

- 鉄道やバス等を中心に地域特性に応じ、利便性が高く、人と環境にやさしい交通ネットワークを構築
- 都心と周辺地域を拠点をつなぐ交通連携軸の公共交通の利便性向上と、道路整備の推進により都心と周辺地期の交流連携を促進
- 安全・安心に暮らせる地域づくりに向け、地域コミュニティに根ざしたネットワークづくりを推進
- 広域交流拠点として周辺市町などとのネットワーク強化

コンパクトでネットワーク化された都市構造
～公共交通を中心とした「マスカット型都市構造」イメージ～



将来都市像 I 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」

政策1 新たな雇用と活力を生む戦略的な産業振興（産業）

- 経営者の高齢化に伴う後継者不足へ対応するため、円滑な**事業承継**を支援
- 起業家やベンチャー企業が**創業しやすい環境づくり**を推進
- 市内外の人材の移住・定住につながる**魅力ある雇用の創出**を図るため、幅広い業種の企業立地を推進
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ「**新しい生活様式**」に対応する**テレワーク**などの働き方を促進

政策2 魅力と賑わいのある中心市街地の創出（中心市街地）

- 旧城下町エリアを南北に通る**商店街や旭川河畔**といった**歩行軸、文化交流軸**を踏まえつつ、**岡山芸術創造劇場の整備**等の各種取組を展開
- **まちなかの魅力や賑わいをつなぐ公共交通の利便性向上**を図るため、**路面電車の岡山駅前広場への乗り入れや延伸、環状化**を実施

政策3 多彩で活力ある農林水産業の振興（農林水産業）

- 品質の高い農林水産物の**販路拡大や消費拡大**、**ブランド力の強化**のため、知名度を高めるPR活動や6次産業化等へのチャレンジを支援

政策4 国内外の人を惹きつける観光・交流の推進（観光・交流）

- 広域周遊観光のベース宿泊地をめざし、**日本遺産をはじめとする歴史・文化資源の魅力向上**、観光客の利便性向上や快適な環境整備を実施
- 若者の岡山への定着や、岡山市の魅力や特色が十分に伝わる**情報発信の強化**、関係人口の創出・拡大等、首都圏からのさらなる移住を促進

政策5 周辺地域の拠点機能の充実と活性化（都市・周辺地域）

- **低密度な市街地の拡大を抑制**し、**コンパクトでネットワーク化**された都市構造の実現に向けた取組を継続
- **周辺地域**では、快適で安心な暮らしを営むことのできる環境の整備や移住・定住による**地域活性化等**を**地域振興基金**を活用しながら促進

政策6 人と環境にやさしい交通ネットワークの構築（交通）

- **利便性の向上と経営の安定化**に向けて、**バス路線の再編、運賃割引、運賃適正化**の取組を推進
- 都心と地域拠点を結ぶ**連携軸**における公共交通の利便性向上等のため、**桃太郎線LRT化**の取組を推進

将来都市像Ⅰ 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」

政策7 魅力ある景観と快適な住環境づくり（景観・住環境）

- 中心市街地の街路樹や都市公園樹木のボリュームアップや質の向上による再生を進め、魅力ある都市空間を形成
- 周辺環境に悪影響をもたらす特定空家等に対して、補助事業や代執行等の取組を推進
- 少子高齢化に伴う火葬需要を踏まえた施設整備

政策8 歴史・文化による新たな魅力の創出と発信（歴史・文化）

- 大規模改修を行う岡山城は、岡山の歴史をわかりやすく伝えるため、来訪者が楽しみながら体験・体感できる展示等を実施
- 史跡や文化財の適切に保存し、次世代へ継承するため、造山古墳群等の再生・保存、有効活用を促進

政策9 暮らしに息づく文化芸術の振興（文化芸術）

- 新たな文化芸術活動の拠点として、令和5年夏頃の開館を目指し「岡山芸術創造劇場」を整備

政策10 地域の活力を育むスポーツの振興

- 東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致等の経験を活かし、岡山市のPRや地域振興を推進

将来都市像II 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」

政策1-1 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり（子育て）

- 質の高い幼児教育、保育サービスを安定的に供給するためのハード、ソフト両面の整備を引き続き推進
- 就学前教育・保育を担う人材を確保するため、処遇改善や潜在保育士の再就職支援等に取り組むとともに**保育士が生涯働ける職場づくり**を推進

政策1-2 子どもの健やかな成長と若者の自立の支援（健全育成、自立）

- 困難を抱える子どもやその家庭を早期に発見し、適切な支援ができるよう、児童家庭相談体制や関係機関との連携をより一層強化
- 虐待の再発防止を目的とした保護者支援プログラムの実施により、体罰によらない子育てを推進

政策1-3 女性や若者が活躍できる社会づくり(女性・若者)

- 仕事と家庭の両立が可能な職場づくりや多様で柔軟な働き方を啓発することにより、女性も男性も働きやすい環境づくりを促進

政策1-4 知・徳・体の調和のとれた自立に向かって成長する子どもの育成（学校教育）

- 学力調査の分析結果等を踏まえ、**子どもが主体的・協動的に学ぶ授業づくり**や、一人ひとりの課題に対応したきめ細やかな学習指導を引き続き実施
- **グローバル化・情報化**に対応できるコミュニケーション力や情報活用能力を育成するため、**英語教育やICTを活用した教育等**を充実
- 不登校を未然に防ぐ取組を推進するとともに家庭訪問等による早期支援を行い、**一人ひとりの育ちを支える取組を徹底**

政策1-5 家庭・学校・地域が協働で進める教育力の向上（教育環境）

- 多様な学びの機会を保障し質の高い教育を目指すため、GIGAスクール構想を踏まえたICT環境を整備

政策1-6 生涯にわたる豊かな学びの充実（生涯学習）

- ESDの視点に立った学びと実践をつなぐ取組を進めるとともに、地域コミュニティの活性化や地域活動の担い手作りを支援する仕組みづくり

政策1-7 多様な主体による協働のまちづくり（協働、ESD）

- SDGsを学ぶ機会を設け、理解の促進を図るとともに、SDGsの達成に向けてESD活動を推進

政策1-8 国際的に開かれた多文化共生のまちづくり（国際）

- オンラインでの交流も含めた幅広い国際交流事業を実施
- 外国人総合相談窓口の運営等を通じて、外国人市民へのよりきめ細かな支援を実施

政策1-9 誰もが個性と能力を発揮できる人権尊重の社会づくり（人権）

- **パートナーシップ宣誓制度**を実施し、他自治体との相互利用を拡げることで性的マイノリティの人々の負担軽減と性の多様性への理解を促進

将来都市像Ⅲ 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」

政策20 生涯にわたり健康でいきいきと生活できるまちづくり（健康）

- PHO実現に向け、**健康寿命の延伸を目指し**、フレイルチェックの実施の機会を増やすなどの介護予防や健康ポイント事業を促進
- **生涯活躍社会の実現に向けて**、SIBを活用した高齢者の就労支援の実施及び企業等の高齢者雇用に対する理解を促進
- **感染症に関する情報を的確に提供し**、**感染症発生時には段階に応じた対策を実施する体制を整備**することにより、市民の健康と安心を確保

政策21 豊富な医療・介護資源をいかした安心の暮らしづくり（医療・介護）

- **高齢者が地域で自分らしい生活をするため**、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援を一体的に提供する体制「**地域包括ケアシステム**」を推進
- **認知症の人やその家族が地域で自分らしく生きるための居場所づくり**や気軽に相談できる体制の充実や地域における支援体制整備を推進

政策22 ともに生き、ともに支え合う地域共生社会の推進（福祉）

- 多様化、複雑化する課題等に、地域住民や地域のあらゆる関係団体が連携協働により対応する地域福祉活動を推進（地域共生社会の構築）

政策23 災害に強く安全・安心な都市基盤の整備（防災・減災）

- 平成30年7月豪雨災害を教訓として、**市民の生命と生活を守るため**、下水道施設の整備等の浸水対策や河川改修等を進め、**災害に強いまちづくりを推進**

政策24 地域防災力の強化と消防救急体制の充実（地域防災）

- **災害時に適切な避難行動がとれるよう地域防災力の向上を目指し**、自主防災組織の結成を促進するとともに、避難行動要支援者個別計画の策定や避難訓練の実施へ支援

政策25 安全・安心な市民生活の確保（市民生活）

- 新型コロナの影響により増加したインターネット通販などに係る消費トラブルなどから市民を守るための消費者教育及び情報発信を実施

政策26 岡山から広げる地域に根ざした環境づくり（環境活動）

- 多様で豊かな自然環境を守るための市民と連携した環境保全活動を継続し、快適な生活環境の確保のため、土壌汚染対策等の対応を強化

政策27 低炭素型の環境にやさしいまちづくり（低炭素）

- **低炭素型の都市の実現のため**、市有施設等での再生可能エネルギーの活用を進めるとともに、気候変動への適応策の実施を推進

政策28 みんなで進める循環型社会の構築（循環型社会）

- 市民との協働によりごみの排出量の減少に取り組むとともに、玉野市、久米南町と連携して広域的なごみ処理に対応する焼却施設の整備を推進

都市経営 圏域をリードし、都市の持続的発展を支える都市経営

政策29 分権・人口減少社会を踏まえた行政の推進（地方創生、行政体制）

- 「岡山連携中枢都市圏ビジョン」について、基礎自治体優先の原則に基づく県との役割分担の下、連携事業のさらなる追加・拡充を図る
- 住民の生活圏等を基礎とした近隣の連携中枢都市圏との圏域間連携に取り組む
- 新たな大都市制度である「特別自治市」の実現や事務・権限の移譲等について、国に働きかける

政策30 将来世代に責任を持つ自主・自立的な行財政運営（行財政運営）

- **財政制約を踏まえた取組を徹底し、将来世代に負担を先送りしないよう中長期的な展望の下で財政運営の健全性を確保**
- **いつでも、どこでも、簡単に行政手続きが完結**することを目指した、マイナンバーカードを活用した**行政手続きのオンライン化の推進**
- 窓口手続きにおけるワンストップ化などスマートな窓口サービスの実現
- AI、RPA等のデジタル技術やBPR手法を活用した業務の効率化の推進
- デジタル人材の確保育成及び国の標準仕様に準拠したシステムの導入によるコスト削減
- 人口構造の変化に伴う施設需要の変化を見据えながら、複合化・多機能化等による施設の配置の最適化を推進

【参考】コロナを踏まえた政策推進上の3つの観点

後期中期計画においては、長期構想に掲げる「将来都市像」の下で、前述の構造的な課題や新たな課題を踏まえた以下の観点にも立ちつつ、「30の政策」を推進していくこととする

(1) 岡山市版ニューノーマルの構築

「スイッチ！おかやま」の徹底により、感染防止対策と社会経済活動の両立モデルを構築

- ・行政手続きのオンライン化をはじめとするデジタル化を抜本的に推進し、迅速かつ正確な行政サービスを提供
- ・県との適切な役割分担のもとで検査体制の確保及びワクチン接種体制を構築

(2) ポストコロナに向けたまちづくり

コンパクトでネットワーク化されたまちづくりに引き続き取り組むとともに、働き方の多様化や感染防止対策にも対応したスマートでゆとりある都市デザインを構築

- ・東京一極集中からの転換を図るため、中四国のゲートウェイに相応しい都市機能をより一層充実
- ・大都市圏からの移住・定住、さらには起業を促進

(3) 安全・安心で包摂的な社会の実現

雇用環境の変化やデジタル化の進展等の社会経済の大きな変化の中でも、市民が誰一人として取り残されない包摂的な社会を実現

- ・ソフト・ハード両面からの防災・減災対策を推進
- ・気候変動対策として温室効果ガスのより一層の排出削減を推進
- ・インフラの中長期的な更新・統廃合・長寿命化の推進により、持続可能な財政運営や市民の安全・安心を確保

ニューノーマル：社会的に大きな影響を与える事象（新型コロナウイルス感染症等）の発生に伴って変化した人々の意識や行動、さらには社会経済システムの変革による新たな社会経済システムのこと。

【参考】3つの観点と各政策の主な対応関係①

(1) 岡山市版ニューノーマルの構築

政策1 新たな雇用と活力を生む戦略的な産業振興（産業）

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ「新しい生活様式」に対応するテレワークなどの働き方を促進

政策4 国内外の人を惹きつける観光・交流の推進（観光・交流）

- ・ 岡山市固有の観光資源の魅力を高めつつ、観光客の利便性向上や快適な環境整備を実施（新たな旅のスタイル）

政策18 国際的に開かれた多文化共生のまちづくり（国際）

- ・ オンラインでの交流も含めた幅広い国際交流事業を実施

政策20 生涯にわたり健康でいきいきと生活できるまちづくり（健康）

- ・ 感染症発生時の保健所の支援体制の確保やまん延防止対策を的確に実施

政策30 将来世代に責任を持つ自主・自立的な行財政運営（行財政運営）

- ・ 財政制約を踏まえた取組を徹底し、将来世代に負担を先送りしないよう中長期的な展望の下で財政運営の健全性を確保
- ・ いつでも、どこでも、簡単に行政手続きが完結することを目指した、マイナンバーカードを活用した行政手続きのオンライン化の推進
- ・ 窓口手続きにおけるワンストップ化などスマートな窓口サービスの実現
- ・ AI、RPA等のデジタル技術やBPR手法を活用した業務の効率化の推進
- ・ デジタル人材の確保育成及び国の標準仕様に準拠したシステムの導入によるコスト削減

【参考】3つの観点と各政策の主な対応関係②

(2) ポストコロナに向けたまちづくり

政策1 新たな雇用と活力を生む戦略的な産業振興（産業） 【再掲】

- ・ 市内外の人材の移住・定住につながる魅力ある雇用の創出を図るため、幅広い業種の企業立地を推進（働き方、業態の変化に対応）

政策2 魅力と賑わいのある中心市街地の創出（中心市街地）

- ・ 道路空間の利活用に向けた取組を促進（屋外空間活用、ウォークブルシティ）
- ・ 中四国のゲートウェイとしての役割を担う岡山市にふさわしい駅前広場の整備（ゆとりのある空間）
- ・ 路面電車の駅前広場乗り入れや延伸、環状化の実施（人や機能を集積させる都市集積の重要性は不変）

政策4 国内外の人を惹きつける観光・交流の推進（観光・交流）

- ・ 若者の岡山への定着や、岡山市の魅力や特色が十分に伝わる情報発信の強化、関係人口の創出・拡大等、首都圏からの移住促進

政策5 周辺地域の拠点機能の充実と活性化（都市・周辺地域）

- ・ 低密度な市街地の拡大を抑制し、コンパクトでネットワーク化された都市構造の実現に向けた取組の継続
- ・ スマートでゆとりのある都市デザインの構築（人や機能を集積させる都市集積の重要性は不変）

政策6 人と環境にやさしい交通ネットワークの構築（交通）

- ・ 利便性の向上と経営の安定化に向けて、バス路線の再編、運賃割引、運賃適正化の取組を推進（安定的な公共交通の確保）

政策7 魅力ある景観と快適な住環境づくり（景観・住環境）

- ・ 中心市街地や都市公園の緑化などによる都市景観の魅力向上（様々な緑やオープンスペースの柔軟な活用）
- ・ 居住ニーズの変化を把握し、耐震化・バリアフリー化等に配慮した住宅整備を促進（ライフスタイルの変化）

【参考】3つの観点と各政策の主な対応関係③

(3) 安全・安心で包摂的な社会の実現

政策11 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり（子育て）

- ・ 質の高い幼児教育、保育サービスを安定的に供給するためのハード、ソフト両面の整備を引き続き推進

政策12 子どもの健やかな成長と若者の自立の支援（健全育成、自立）

- ・ 虐待の再発防止を目的とした保護者支援プログラムの実施により、体罰によらない子育てを推進

政策20 生涯にわたり健康でいきいきと生活できるまちづくり（健康）

- ・ 地域の身近な場所におけるフレイルチェック（心身の虚弱度チェック）の実施により介護予防を促進

政策21 豊富な医療・介護資源をいかした安心の暮らしづくり（医療・介護）

- ・ 認知症の人や家族のニーズと認知症サポーターによる支援をつなぐ仕組みづくりを検討

政策22 とともに生き、ともに支え合う地域社会づくり（福祉）

- ・ 多様で複合的な地域課題やニーズに応えるため、各関係機関との協働や、地域住民等との連携を図り地域福祉活動を推進

政策23 災害に強く安全・安心な都市基盤の整備（防災・減災）

- ・ 下水道施設等の整備や河川改修を推進し、河川排水機場の長寿命化対策及び洪水時の運転停止防止のための事前保守点検を実施

政策24 地域防災力の強化と消防救急体制の充実（地域防災）

- ・ 避難所における感染症対策の徹底、及び親族・友人宅への避難や自宅での垂直避難に関する周知・啓発を実施

政策27 低炭素型の環境にやさしいまちづくり（低炭素）

- ・ 気候変動に対する適応策の実施にあたり、市が率先して気候変動の影響を軽減・回避する施策を行い、市民や事業者と連携して実施

政策30 将来世代に責任を持つ自主・自立的な行財政運営（行財政運営）

- ・ 人口構造の変化に伴う施設需要の変化を見据えながら、複合化・多機能化等による施設の配置の最適化を推進